| 学校番号 | １１５ |
|---|---|

# 平成 31 年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 国語総合 | 単位数 | ５単位 | 年 | １年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 類型等 | 共通 | | | | | | |
| 使用教科書 | 「高等学校改訂版　新訂国語総合」　（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 高校国語への準備演習　三訂版<br>新版完全征服頻出入試漢字コア 2800<br>新訂総合国語便覧　新版五訂<br>完全マスター古典文法　新版五訂<br>完全マスター古典文法準拠ノート実力養成<br>精選漢文<br>読み解く古典１<br>LT 現代文 LT1<br>核心古文単語 351　新版 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習上のポイントは以下の通りです。

現代文

① 本文中の漢字・語句の意味について、辞書で調べる。
② 文章全体の構成を意識して読み、主題を捉える。
③ 文学作品においては、状況設定・場面設定・登場人物の心情・人物設定について正確に把握する。
④ 文学作品の背景・時代状況等の歴史的意味と、文学史上の事実に関心を持ち読書に努める。

古　典（古文・漢文）

① 古語辞典・漢和辞典を活用し、予習・復習する。
② 重要語句・慣用的表現・文学史事項を理解する。
③ 古典文法をしっかり反復学習し、読解力につなげる。
④ 場面設定・登場人物設定を理解し、文構造・文章構成に注目しながら本文を読み進める。
⑤ 漢文訓読法（読み方）・基本句形を理解し、重要単語を覚える。

## 2　学習の到達目標

・論理的に考える力を身につける。
・言いたいことを正確に他者に伝える力を身につける。
・他者の言いたいことを正確に理解する力を身につける。
・過去の人物、外国の人物などからも学ぶ力を身につける。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 | 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 | 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | ・授業態度<br>・発問評価<br>・指名音読<br>・学習課題の提出<br>・感想文の提出<br>・定期考査 | ・授業態度<br>・発問評価 | ・授業態度<br>・発問評価<br>・学習課題の提出<br>・感想文の提出<br>・定期考査 | ・授業態度<br>・発問評価<br>・指名音読<br>・学習課題の提出<br>・感想文の提出<br>・定期考査 | ・授業態度<br>・発問評価<br>・指名音読<br>・学習課題の提出<br>・感想文の提出<br>・定期考査 |

**上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。**
**学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。**

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 1 | 評論 | 新しい地図を描け<br>水の東西<br>ものとことば<br>不均等な時間 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | a:分かりにくい言葉・表現を辞書で調べている。内容に興味・関心を持っている。<br>b:本文を音読する。音読を聞き、例示された内容を正確に読み取っている。<br>c:内容を正確にまとめている。<br>d:指示語の内容を理解している。<br>e：漢字や語句、文体の特色を理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 1 | 小説 | 羅生門 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | a:登場人物を通して人間の普遍的な心理に興味関心を持っている。<br>b:本文を音読する。音読を聞き、登場人物の行動と心理を理解している。<br>c:自分が感じたことを感想文にまとめる<br>d:比喩表現について理解する。<br>e：漢字や語句、文体の特色を理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 2 | 随想 | 交換は愉しい | ○ | ○ | | ○ | ○ | a:コミュニケーションの本質について考えようとしている。<br>b: 本文を音読する。音読を聞き、文章構成を把握し、全体の流れをとらえている。<br>d:指示語について正しく理解している。<br>e：漢字や語句、文体の特色を理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 2 | 評論 | 「間」の感覚<br>木を伐る人／植える人 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 分かりにくい言葉・表現を辞書で調べている。内容に興味・関心を持っている。<br>b: 本文を音読する。音読を聞き、文章構成を把握し、論旨を的確に把握している。<br>c:内容を正確にまとめている。<br>d:評論に多用される表現を理解する。<br>e：漢字や語句、文体の特色を理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 2 | 小説 | 城崎にて | ○ | ○ | | ○ | ○ | a:生と死について考察を深めている。<br>b: 本文を音読する。音読を聞き、登場人物の人物像を理解している。<br>d:私小説の特徴について理解している。<br>e：漢字や語句、文体の特色を理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 評論 | オンリー１か、ナンバー１か<br>デザインの本意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 分かりにくい言葉・表現を辞書で調べている。内容に興味・関心を持っている。<br>b: 本文を音読する。音読を聞き、具体例と主張との関係を整理し、論理構成を把握している。<br>c:内容を正確にまとめている。<br>d:指示語について正しく理解している。<br>e：漢字や語句、文体の特色を理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 3 | 小説 | 夢十夜 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | a:作者の他の作品や「夢十夜」の他の話を読むなど理解を深めようとしている。<br>b:考えをまとめ発表する。<br>c:読んで考えたことを自分の言葉でまとめ表現している。<br>d:表現の特徴や効果について理解している。夢の話としての特徴がどういう点に表れているか理解している。<br>e：漢字や語句、文体の特色を理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 3 | 詩 | 一つのメルヘン<br>自分の感受性くらい<br>I　was　Born | ○ | ○ | | ○ | ○ | a:詩に興味関心を持ち積極的に味わおうといている。<br>b:考えをまとめ発表する。<br>d:詩の鑑賞のしかたを習得する。詩の展開を理解しイメージを読み取る。<br>e：漢字や語句、文体の特色を理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 一学期 | 古文入門 | 『宇治拾遺物語』<br>「児のそら寝」<br>「絵仏師良秀」 | ○ | | | ○ | ○ | a:古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。<br>d:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。<br>e:歴史的仮名遣いについて理解し、本文を正しく音読できる。用言について理解する。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 一学期 | 物語 | 『竹取物語』<br>「かぐや姫のおひたち」<br>「かぐや姫の嘆き」 | ○ | | | ○ | ○ | a:昔話としてなじみのある作品を読み、古文に親しむ。<br>d: 文章の内容を構成や展開に則して的確に捉える。<br>e:用言を中心に文法事項への理解を深める。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 二学期 | 物語 | 『伊勢物語』<br>「芥川」<br>「東下り」<br>「筒井筒」 | ○ | | | ○ | ○ | a:歌物語を読んで、古文に親しむ。<br>d: 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。<br>e:和歌の修辞を理解する。助動詞について理解する。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 二学期 | 随筆 | 『徒然草』<br>「つれづれなるままに」<br>「ある人、弓射ることを習ふに」<br>「丹波に出雲といふ所あり」 | ○ | | | ○ | ○ | a: 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。<br>d: 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。<br>e:助動詞を中心に文法事項への理解を深める。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 二学期 | 日記 | 『土佐日記』<br>「門出」<br>「帰京」 | ○ | | | ○ | ○ | a:日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。<br>d:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。<br>e:助詞、助動詞の識別についての理解を深める。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト定期考査 |
| 三学期 | 漢文入門 | 訓読に親しむ一<br>訓読に親しむ二 | ○ | | | ○ | ○ | a:漢文に親しみを持つ。<br>d:古代中国人のものの見方、考え方を知り、その日は苦を通して日本文化をより深く理解する。<br>e:漢文訓読の基本事項を理解する。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 三学期 | 故事成語 | 「漁父之利」<br>「狐借虎威」<br>「蛇足」 | ○ | | | ○ | ○ | a:故事成語のもとになった故事や逸話に関心を持つ。<br>d:平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。<br>e:句形の読み方と意味とを理解している。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 三学期 | 史伝 | 「完璧」<br>「先従隗始」 | ○ | | | ○ | ○ | a:史伝の特徴的な表現を味わう。<br>d：中国の歴史書の特質である文学性を理解し、思考力や批判力を養う。<br>e:比較的長い、平易な文章の漢文に慣れ、訓読のきまりについて確認する。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |
| 三学期 | 漢詩 | 「春暁」<br>「月夜」<br>「春望」 | ○ | | | ○ | ○ | a:唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。<br>d:中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているのかを考える。<br>e:漢詩のきまりについて理解する。 | 授業態度<br>発問評価<br>指名音読<br>学習課題の提出<br>小テスト<br>定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。